

実務経験のある教員が担当する授業科目の一例（2019年度開講科目）

| 区分 | 科目名 | 単位数 | 担当教員 | 実務経験の概要と授業との関連性 |
|--------------|------------|-----|------------------|---|
| 教養 | 文化人類学 | 2 | 板垣 順平 | 途上国での長期現地調査や国際協力事業に携わった教員が実施経験をもとに文化のあり方について講義する。 |
| | 社会起業 | 2 | 福本 壘 | 起業及び企業経営、社会事業の実践経験のある教員が、その経験を活かして、社会問題を解決する事業と起業計画の考え方について講義する。 |
| 専門教育科目（学部共通） | デザイン概論 | 2 | 和田 裕 | 21年余、車メーカーのデザインセクションに勤務実績を有する教員が、デザインを経営資源と捉え、その実現の為の修学姿勢に付きレクチャーする。 |
| | デザイン感性工学 | 2 | 境野 広志 | 通信会社にて家庭向け商品のために人間の認知や感性に関わる技術開発を行った教員が、感性工学について講義を行う。 |
| | デザインマネジメント | 2 | 池永 隆 | メーカーのデザイン部門でデザイナーおよびデザインのマネジメントの経験のある教員が、その経験を活かして、企業内でのデザイン業務に関連する基本的な知識や進め方、考え方について講義する。 |
| | 都市論 | 2 | 渡邊 誠介 | 都市計画審議会など各種都市計画業務に携わる経験を持つ教員が、都市の在り方などについて講義する。 |
| | インテリア | 2 | 川口 とし子、 ◎森 望 | 自身の設計事務所を持っている教員が、住宅リノベーションや店舗設計を指導する（川口）。ディスプレイ事務所に勤務していた教員が、ショーウィンドウやイベント空間のデザインを指導する（森）。 |
| | 空間安全論 | 2 | ◎福本 壘、 稲垣 文彦 | 巨大災害時の復旧・復興活動に従事した経験のある教員が、その経験を活かして、空間や状況に応じた危険と安全の考え方について講義する。 |
| | 緑地環境計画 | 2 | 小川 総一郎 | 建設会社及びコンサルタンツで実績のある教員がランドスケープの計画設計施工について講義する。 |
| | 居住論 | 2 | 山下 秀之 | 建築家としての設計実務を重ねている教員が、国内老若男女の居住や社会の現状を見通し、豊富な国際業務経験によりリアルなネットワークを活かした講義を行う。 |
| | 建築史 | 2 | 津村 泰範、 ◎平山 育男 | いずれも文化財建造物修理設計監理の経験を持つ教員が講義を行う。 |
| 単位数合計 | | 22 | | |

※上記の授業科目は一例で、これ以外にも実務経験のある教員が担当する科目があります。